

令和2年度 事業計画

第1 公益目的事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学研究及びその指導法並びに作詩法の研究指導機関としての役割を全うするために、広く吟道指導者を育成指導し、不特定多数の者に吟道の普及振興を図ることを目的として、以下の公益目的事業を行う。

1 吟道に関する研修会、講習会及び大会の開催

一 研修会・講習会

(1) 日本吟道夏季大学講座 公1-1

詩歌吟詠法と作詩の理論と実技の指導のため、次のとおり夏季吟道大学講座を開催する。

令和2年度8月1日(土)及び2日(日)の2日間

埼玉県川口市 川口総合文化センター

参加予定人員 1000名

(2) 中国国際詩歌節 公1-3

中国安徽省馬鞍山市の主催する国際詩歌節の詩吟大会に参加し、中国の漢詩のふるさと、中国の史跡を訪ねて、漢詩のより深い理解に努めるとともに、日中友好を図る。

令和2年10月23日(金)～29日(木)

参加予定人数 10名

(3) 地区吟道講習会 公1-4

詩歌吟詠に関する研鑽を深め、広く吟道を普及するため、次の地区において講習会を行う。

① 北関東地区

令和2年12月 6日(日) 場所未定

② 千葉・茨城地区

令和3年 2月 6日(土) 東京都文京区 日本吟道会館

③ 東京地区

令和3年 2月23日(火) 東京都江戸川区 小松川区民館

④ 神奈川・山梨地区

令和3年 2月 6日(土) 横浜市社会福祉センター

⑤ 三重地区

令和2年 6月7日(日) 三重県鈴鹿市防災センター

⑥ 中国地区

令和2年 4月12日(日) 場所未定

⑦ 西部九州地区

令和2年 9月27日(日) 長崎県諫早市本野ふれあい会館

⑧ 南部九州地区

令和2年10月 4日(日) 鹿児島市谷山市民会館

以上、参加予定人員 延・ 900名

(4) 指導者育成推進講習会 公1-5

吟道を広く普及するため、詩歌吟詠の指導者の育成とその指導力を強化することを目的として、次の地区において研修を行う。

① 北海道地区

令和2年 5月24日(日) 北海道苫小牧市苫小牧アイビープラザ

② 東北地区

令和2年 7月24日(金) 宮城県仙台シルバーセンター

③ 北関東地区

令和2年 8月16日(日) 場所未定

④ 埼玉・千葉・茨木・東京・神奈川・山梨地区

令和2年11月15日(日) 東京都文京区民センター

⑤ 北陸地区

令和2年 8月30日(日) 富山県射水市大門総合会館

⑥ 中部地区

令和2年 7月26日(日) 愛知県安城市中部福祉センター

⑦ 三重地区

令和2年 9月 6日(日) 三重県鈴鹿市河川防災センター

⑧ 中国地区

令和2年 8月30日(日) 鳥取県米子市福生東公民館

⑨ 西部九州地区

令和2年9月 27日(日) 長崎県諫早市本野ふれあい会館

⑩ 南部九州地区

令和3年2月 28日(日) 鹿児島市谷山市民会館

以上、参加予定人数 延・750名

(5) 講師特別練成会 公1-8

本部として指導的立場にある本部役員及び吟士権者等を対象に、理事長等の上級指導者、外部講師による練成会を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。

令和2年 4月 4日(土) 東京都文京区 日本吟道会館

二 吟道に関する大会の開催

日頃の吟道精進の成果を披露し、他の人の吟詠を聴いて参考とし、更に広く一般の人々の吟詠に関する関心を高めることにより吟道の普及に資するため、下記の諸大会を開催する。

(1) 日本吟道全国大会 公1-10

次のとおり日本吟道全国大会を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。

第70回日本吟道全国大会

令和2年 5月31日(日) 鹿児島県奄美市 奄美文化センター

(2) 日本吟道青少年全国大会・壮心の集い 公1-11

幼少年及び青年を対象に、次のとおり第56回日本吟道青少年全国大会を行う。
同時に、各地区の壮心大会で選出された代表者により、壮心の集いを行う。

令和 3年3月未定

場所未定

参加予定人員 120名

(3) 日本吟道名吟大会 公1-14

会員の中でもレベルの高い吟詠家を集めて発表することにより、会員の吟詠力の向上と、一般の人々に対する吟詠の普及を図ることを目的として、第24回日本吟道名吟大会を行う。

令和2年10月25日(日)

東京都江戸川区 タワーホール船堀

参加予定人員 800名

(4) 日本吟道全国吟詠コンクール 公1-15

全国各地域より選抜された会員による、第8回日本吟道全国吟詠コンクール決勝大会を次のとおり行う。

令和2年 8月 1日(土)

埼玉県川口市 川口総合文化センター

参加予定人員 1000名

(5) 日本吟道壮心大会 公1-12

原則として65才以上を対象に、各地区が主体となって日本吟道壮心大会を行う。

(6) 国際文化交流事業 公1-16

中国江蘇省鐘山昆歌五星団隊服務会一行約30名を、東京に招き昆歌と詩吟の交流会を行う。

令和2年 6月20日(土)

東京都文京区 日本吟道会館

2 吟道に関する普及活動への支援

吟道の普及活動を行うに当たり、全体的に活性化された活動が行われるよう、人的、財政的支援を行う。

一 公認団体の吟道大会の支援

公認団体の周年行事に際して、本部からの役員の派遣及び大会経費の一部助成等の支援を行う。

二 地域活性化、吟道普及につながる事業への支援

三 各地の敬老会、養護施設、学校その他への慰問・指導

3 吟道に関する調査研究及び広報事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学研究及びその指導法並びに作詩法の研究・指導機関として、「新世紀における吟詠研究会」を中心とした研究活動を行うとともに、その成果等については広報誌等を通じて公表する。

(1) 詩歌吟詠法及び作詩法に関する研究会

① 新世紀の詩歌吟詠法及び作詩法に関し、吟詠研究会を行う。 公3-1

令和2年 6月28日(日)

東京都文京区 日本吟道会館

- 令和2年12月13日（日） 東京都文京区 日本吟道会館
令和3年 3月21日（日） 東京都文京区 日本吟道会館
② 五行歌吟詠集100（仮称）制作記念発表会
令和2年 9月20日（日） 東京都文京区民センター
③ その他の調査研究
その他、必要に応じて随時調査研究会を行う。

（2）広報事業

不特定多数の人に吟詠を普及するため、吟道に関する各種資料、調査研究の成果等を公表するため、次の広報事業を行う。

- ① 広報誌「日本吟道」の刊行
- ① 詩歌吟詠に関する出版物の刊行
- ② ホームページによる広報活動
- ③ その他、マスコミ、公共団体等を活用した広報活動

第2 収益事業等

公益目的事業を補完し、これを積極的に推進するため、次の収益事業及び共益事業を行う。

1 収益事業

一 吟道に関する教本及び教材並びに物品等の販売

二 段級位、伝位及び師範位の認定

- （1）吟詠の技術の向上に伴い、段級位、伝位の認定を行う。
- （2）指導技術の向上に伴い、師範位の認定を行う。

2 共益事業

主として本学院の会員を対象とする次の事業を行う。

一 功労者の顕彰及び表彰

- （1）吟道発展に寄与し、特に功労顕著な者に、冠称を贈り顕彰する。
- （2）吟道普及に功績のあった公認団体の代表者に対して感謝状を贈り表彰する。
- （3）吟道普及に功績のあった会員を褒賞する。
- （4）吟道普及に功績のあった公認団体を表彰する。
- （5）永年にわたり吟道を研鑽した高齢者を表彰する。
- （6）その他、随時、吟道普及に功績のあった会員を表彰する。

二 正会員吟道大会

正会員を対象として、総会開催時に正会員吟道大会を開催する。

令和2年 6月14日（日） 東京都千代田区 主婦会館
参加予定人員 120名

三 新春賀詞交歓会

令和3年 1月 9日（土） 東京都文京区 日本吟道会館
参加予定人員 120名

3 その他、目的を達成するために必要な事業

一 記録の制作と保存

本学院の事業等に関する吟詠等を記録及び保存する。

二 （公財）日本吟剣詩舞振興会主催の「全国吟詠合吟コンクール」に参加する。

令和2年11月 1日（土） 東京都千代田区 日本武道館

三 その他、目的を達成するために必要な事業を行う。